

PRAGMA

INNOVATIONS

ARVIGOnano



ARVIGOnano IP Address : 192.168.1.

Symetrix DSP IP Address : 192.168.1.

はじめに

このたびは PRGMA 社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書を良くお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいた上で末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

お読みになった後はいつでも見られるところに保管しておいてください。

ご不明点は最終ページ記載の連絡先にお問い合わせいただけますようお願い申し上げます。

安全上の注意

- ・ このガイドを最後までお読みください。
- ・ 当機器を水のかかる環境に設置しないようにしてください。
- ・ 掃除する場合は乾燥した布でのみ行ってください。
- ・ 火気に近づけないようにしてください。
- ・ 異常（音、煙、臭いや発熱など）に気付いたら使用しないでください。
- ・ 換気の良い場所に設置するようにしてください。
- ・ 分解や改造は行わないようにしてください。
- ・ ユーザー様にて修理できる商品はありません。万が一の不具合の際は株式会社オーディオブレインズまでご連絡ください。

製品保証

PRAGMA 製品の保証はご購入後 1 年間となっております。通常運用で不具合が生じた場合は 1 年間無償で修理を行います。ただし、輸送中、移動中の製品落下、不適切な使用での故障、製品の改造を行った場合、また国外で使用し故障した場合などは当保証対象外になります。

内容物

- ・ ARVIGOnano 本体
- ・ 製品保証書
- ・ スイッチカバー
- ・ 本紙

設定ソフト

ARVIGO 設定ソフトウェアは Windows ベースのソフトウェアになります。

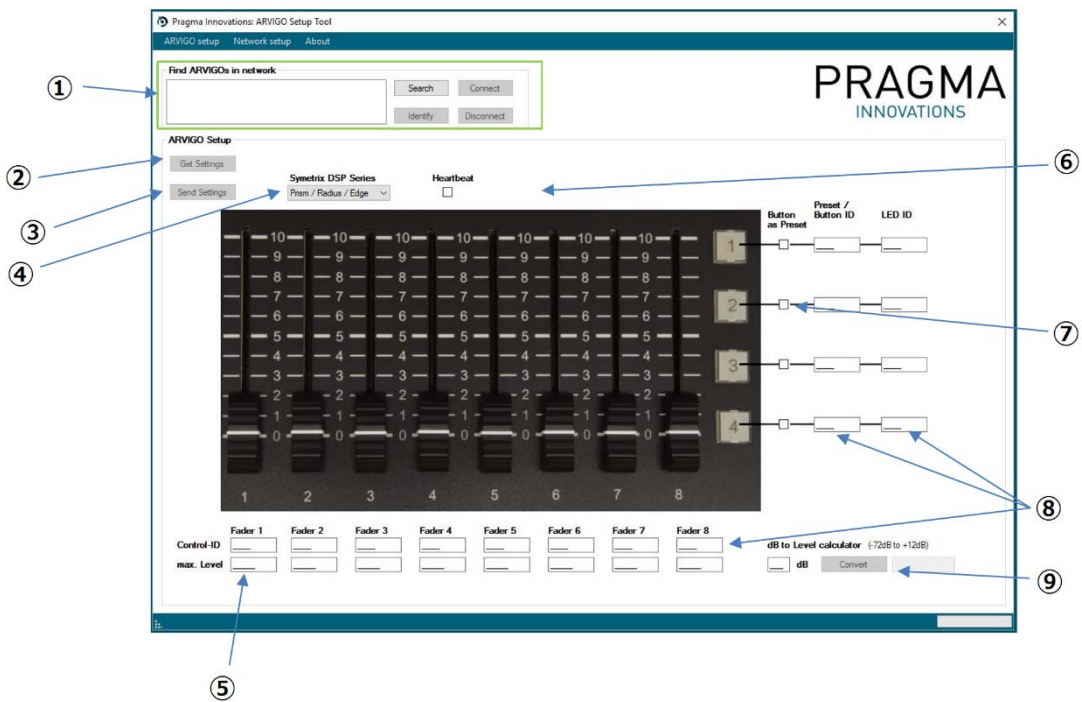
下記の WEB サイトからソフトウェアをインストールしてください。

<http://www.pragmainnovations.ch/products/arvigo/symetrixr.html>

設定ソフトウェア画面

ARVIGO setup タブをクリックすると、設定画面を表示します。

- Symetrix Prism / Radius / Edge 用設定画面



① Find ARVIGOs in network

Search をクリックすると、ネットワーク内から接続されている ARVIGO を探し、見つかった ARVIGO の IP アドレスと MAC アドレスを表示します。

Connect をクリックすると、その ARVIGO と接続され、設定情報の表示、変更を行います。

Identify をクリックすると、選択された ARVIGO の LED が点滅します。

Disconnect をクリックすると、接続された ARVIGO との通信を終了します。

設定終了後は必ず Disconnect をクリックしてください。

② Get Settings

ARVIGO の設定を表示します。

③ Send Settings

設定した情報を ARVIGO に流し込みます。

④ Symetrix DSP Series

使用する DSP の種類を選択します。

⑤ Max.Level

フェーダーの最大値を 0000 から 65535 の間で指定することができます。

⑥ Heartbeat

Heartbeat 機能の ON/OFF、Heartbeat を出力する Symetrix Assigned Control Number を設定、表示します。

Heartbeat 機能とは、指定された Number に定期的に信号を出力します。DSP ユニットが ARVIGO が接続されているか否かを認識する為に使用します。

⑦ Button as Preset

ボタンをプリセットトリガーとして使用する場合はチェックを入れてください。

Button1=Preset0001

Button2=Preset0002

Button3=Preset0003

Button4=Preset0004

⑧ Control-ID

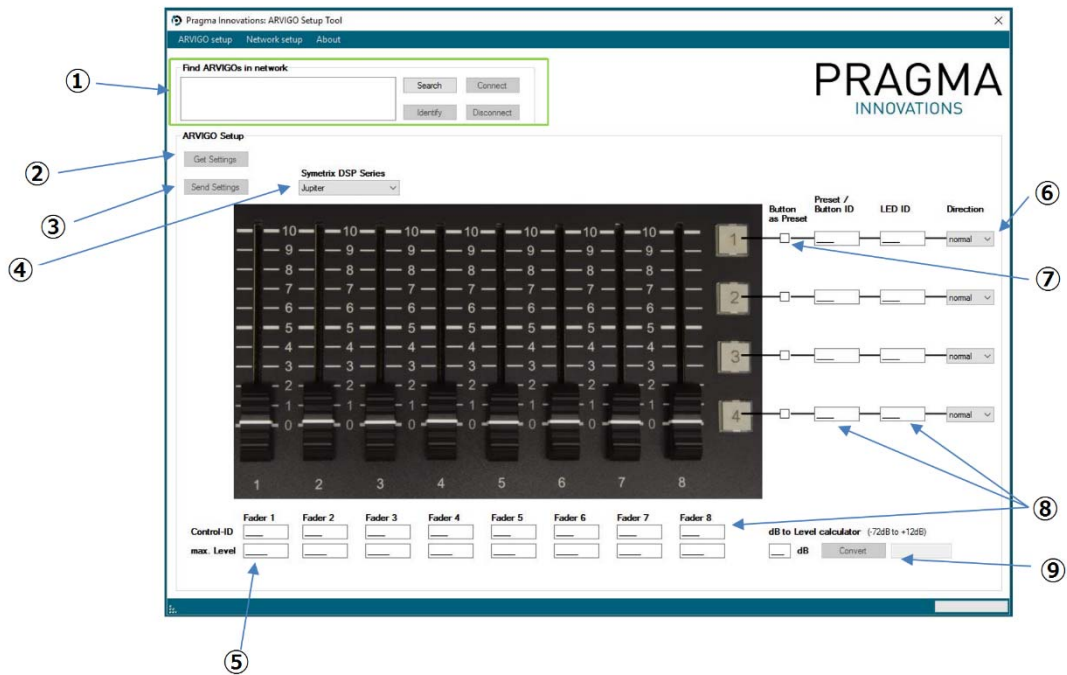
各フェーダー、スイッチ、LED 毎の Symetrix Assigned Control Number を設定、表示します。

⑨ dB to Level calculator

-72dB から+12db の間で任意の数字を入力すると、00000 から 65535 のコントロール値に変換します。

※画面右下のバーで進行状況を確認することができます。

• **Symetrix Jupiter** 用設定画面



① Find ARVIGOs in network

Search をクリックすると、ネットワーク内から接続されている ARVIGO を探し、見つかった ARVIGO の IP アドレスと MAC アドレスを表示します。

Connect をクリックすると、その ARVIGO と接続され、設定情報の表示、変更を行います。

Identify をクリックすると、選択された ARVIGO の LED が点滅します。

Disconnect をクリックすると、接続された ARVIGO との通信を終了します。

設定終了後は必ず Disconnect をクリックしてください。

② Get Settings

ARVIGO の設定を表示します。

③ Send Settings

設定した情報を ARVIGO に流し込みます。

④ Symetrix DSP Series

使用する DSP の種類を選択します。

⑤ Max.Level

フェーダーの最大値を 0000 から 65535 の間で指定することができます。

⑥ Direction

LED の点灯を normal と invert(反転)から選択します。

⑦ Button as Preset

ボタンをプリセットトリガーとして使用する場合、チェックを入れてください。

Button1=Preset0001

Button2=Preset0002

Button3=Preset0003

Button4=Preset0004

⑧ Control-ID

各フェーダー、スイッチ、LED 毎の Symetrix Assigned Control Number を設定、表示します。

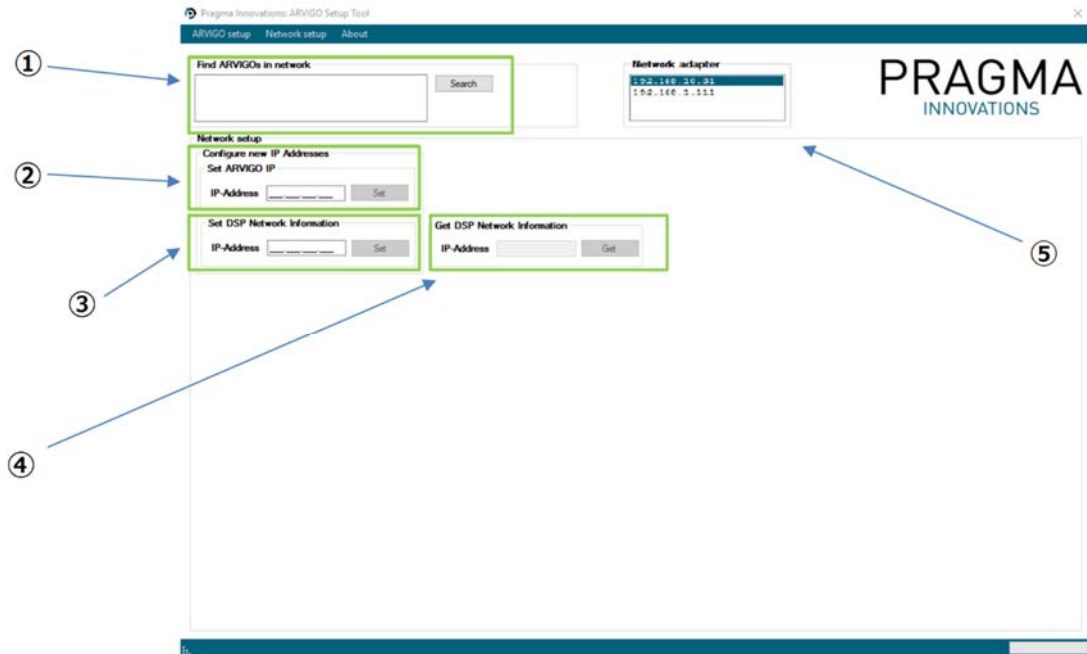
⑨ dB to Level calculator

-72dB から+12db の間で任意の数字を入力すると、00000 から 65535 のコントロール値に変換します。

※画面右下のバーで進行状況を確認する事ができます。

ネットワーク設定

- ・ Network setup タブをクリックすると、ネットワーク設定画面を表示します。

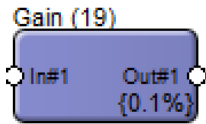


- ① Find ARVIGOs in network
ネットワーク上の ARVIGO を探します。
- ② Set ARVIGO IP
ARVIGO 本体の IP アドレスを設定する事ができます。
- ③ Set DSP Network Information
ARVIGO が接続される SymetrixDSP の IP アドレスを設定する事ができます。
- ④ Get DSP Network Information
ARVIGO 本体に現在設定されている、ARVIGO が接続されるべき SymetrixDSP の IP アドレスを確認する事ができます。
- ⑤ Network adapter
コンピューターに複数のネットワークアダプタがある場合は Network adapter ウィンドウが表示されます。ARVIGO が接続されている IP アドレスを選択してください。

※画面右下のバーで進行状況を確認する事ができます。

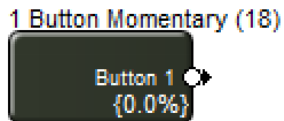
SymetrixDSP 側の設定

- ① Gain モジュールを配置し、ARVIGO 設定ソフトウェア上で設定した任意のフェーダーの Control Number を任意の Gain フェーダーに割り振ってください。

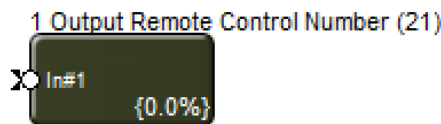
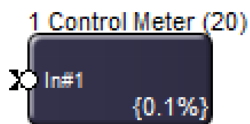


- ② Control Module 内の x Button Momentary を配置し、ARVIGO 設定ソフトウェア上で設定した任意のスイッチの Control Number を Momentary Button の ON 部分に割り振ってください。

また Heartbeat 機能を使用する場合も同様の方法で設定してください。



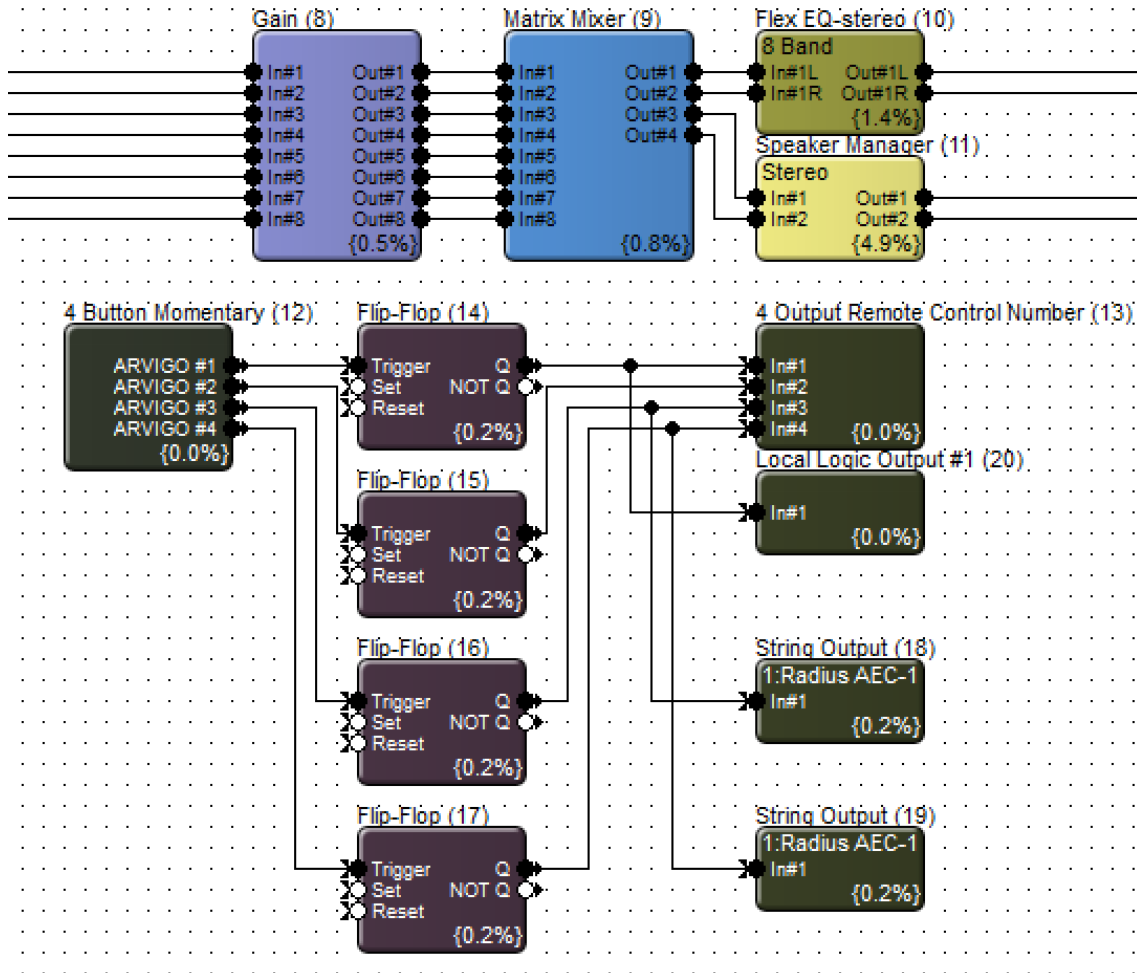
- ③ スイッチの LED を点灯させるには、Control Meter に LED と同じ Control Number を設定します。または x Output Remote Control Number モジュールなどを LED に設定された Control Number を設定しご使用ください。



※ARVIGOnano は電源投入時にフェーダーの位置情報を SymetrixDSP に送信します。

もしも電源が切れている状態でフェーダーが動いたとしても、電源の再投入時に位置が再送信され実際のフェーダー位置と DSP のフェーダー位置が一致する仕組みになっています。

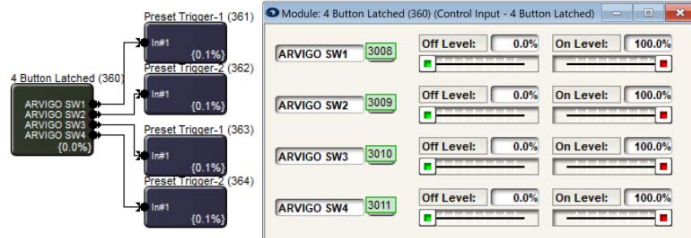
SymetrixDSP 側の設定例



PRAGMA のスイッチを使用し DSP のプリセットを変更する方法

この例では4つのプリセットを作成して、PRAGMA の各スイッチで呼び出すロジックの作成方法を説明します。この時スイッチのLED は呼び出されているプリセット、つまり最後に押されたスイッチだけが点灯するようにします。

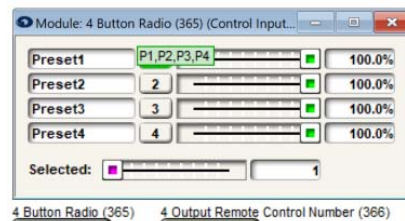
1. 任意のプリセットを作成します。この例ではプリセット1から4を使用します。
2. Toolkitの Control Modules > Control Inputs 内にある 4 Button Latched を配置し



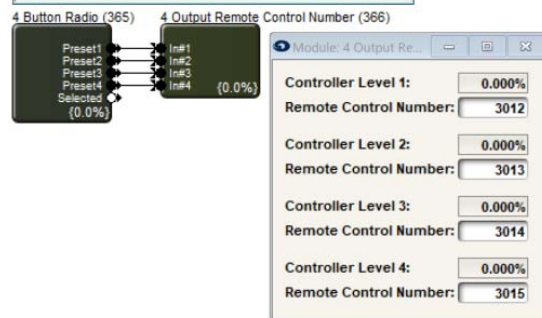
ます。モジュールを開き ON の上で右クリックして RemoteControlNumber を割り当てます。RemoteControlNumber は ARVIGO 設定ソフトウェアで設定した ButtonID と同じ番号を指定します。上図ではデフォルトの値を入力しています。

3. Control Modules > Control Accessories 内の Preset Trigger を配置して上図のようにワイヤーを繋ぎます。Preset Trigger モジュールを開き、呼び出すプリセットを一つずつ指定します。
4. これでボタンを押した時に任意のプリセットを呼び出すロジックが完成しました。次に、呼び出されたプリセットに応じてスイッチの LED を点灯させるロジックを作成します。

5. Control Modules > Control Inputs 内にある 4 Button Radio を配置します。モジュールを開きプリセットを割り当てます。この例ではプリセット1の時に1が選択され、プリセット2の時に2、と作成しています。



6. Control Module > Control Outputs 内にある 4 Output Remote Control Number を配置して、RemoteControlNumer を設定します。RemoteControlNumer は ARVIGO 設定ソフトウェアで設定した LED ID と同じ番号を指定します。上図ではデフォルトの値を入力しています。



7. 作成したファイルを DSP にプッシュします。

※SymetrixDSP 側のプリセットや RemotoControlNumber の設定方法は別途 TechTip をご参照ください。

仕様

ARVIGO nano

サイズ 200 mm x 150 mm x 47mm

重さ 400g

電源 PoE Class 1 (3W MAX)

接続ケーブル UTP ケーブル、100BaseT (CAT-5/6/7) RJ45

ARVIGO nano19”

サイズ 483 mm x 132 mm (3U)、基板高 裏面より 25mm

重さ 650g

電源 PoE Class 1 (3W MAX)

接続ケーブル UTP ケーブル、100BaseT (CAT-5/6/7) RJ45

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは株式会社オーディオブレインズまでご連絡ください。お問合せ受付時間は、土日祝日、弊社休業日を除く 10:00~18:00 です。

株式会社オーディオブレインズ

〒216-0034

神奈川県川崎市宮前区梶ヶ谷 3-1

電話 : 044-888-6761

AUDIO  **BRAINS**

20180124

-14-

PRAGMA
INNOVATIONS